

# 委員会情報

## 閉会中の調査から

### 福祉保健委員会

#### 飛騨市民病院(神岡町)

地域医療における課題調査のため、平成22

年7月には高山日赤病院、久美愛病院を訪問していますが、昨秋にはさらに飛騨市民病院を訪ね、院長ほか2人の職員からお話を伺いました。

上宝町や奥飛騨温泉郷の市民は通常、高山市よりも神岡町の病院を利用してきます。飛騨市民病院は、救急の受け入れを含め、地域に密着した医療拠点として大きな役割を担っているのです。



医師数は、常勤医が医療法の標準に満たない6人、非常勤医が20人です。

常勤医6人で日直・宿直・待機をこなし、その上で救急の受け入れもローテーションで守っている現状をお聞きしました。

その内容は、通常勤務の後、宿直、さらに翌日の1日勤務という激務です。体力面での重い負担が推察できますし、家族とのくつろぎやプライベートの時間を削って地域医療を守ってくださることに感謝するばかりです。

コスト的に割高となる非常勤医に頼らざるを得ない現状と、常勤医の減少による手術の制限などが、結果として病院経営を圧迫しています。医師確保のための支援策は、急ぐべき課題であることをあらた

めて感じました。

日赤や久美愛病院を含め、ぎりぎりのバランスで成り立っている飛騨地域の医療問題に対しては、飛騨市や白川村との連携が不可欠です。県へ強く働きかける必要もあります。高山市は確たる医療ビジョンをもつて地域医療の確保

を打ち出す必要があります。

#### 近隣市の火葬場

火葬場建設に向けた委員会調査のため、飛騨市の施設へ。高山市が一部を委託している松ヶ丘公園斎場(神岡)と光明苑(古川)の2カ所を視察しました。

### 基盤整備委員会

#### 視察で静岡県三島市へ

「街中がせせらぎ事業」について調査しました。

市民の自主的な活動実績を踏まえた事業です。魅力あるスポットを点から線へ、線から面に広げていく仕組みやシステムを構築しようとして取り組んでいます。「市民・企業・行政がパートナーとなり役割分担で築き上げること」をまちの活性化につなげる協働事業でもあります。

事業の主な内容は「各鉄道駅前修景整備事業」「古道及び街道修景整備」「河川整備」などです。「歩きたくなる『案内』づくり」もあり、来訪者を回遊ルートに誘導し、歩くために必要な情報を提供します。案内標識や案内板・説明板・マップを整備して、ボランティアガイドシステムを構築する取り組みがあります。

また、基本計画、実施計画を市民協働でつくり、市民議会・状況報告会を毎月開きます。市民との協働のまちづくりを進めるといった内容です。

毎月第一土曜日に開いている「ごみ拾いツアー」や、せせらぎルートやアメニティスポットなどの清掃も、市民との協働事業として展開していました。

課題となっているのは、①取り組みをどう継続していくか②おもてなし意識を高めること③どう無関心層を巻き込んでいくか④観光客の通過地点にならない工夫などだと考えられます。



三島市役所での行政視察